

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年8月分：速報)

<対世界>

○輸出総額：9,990 億円(伸率：+2.6%) ⇒ 5か月ぶりのプラス

・順位：20 位、8 月としては 1 位

【順位は、昭和 54(1979)年1月以降(560 か月、8 月は 47 か月)による。以下同じ。】

・増加品目：半導体等電子部品(同+10.7%)、船舶(同+49.3%)

○輸入総額：8,458 億円(伸率：+3.6%) ⇒ 7か月ぶりのプラス

・順位：34 位、8 月としては 4 位

・増加品目：航空機類(同 936.8 倍)、金属鉱及びくず(同+40.7%)

○差引額：1,532 億円(伸率：▲2.7%) ⇒ 7か月連続の輸出超過

・順位：56 位、8 月としては 3 位

為替レート：2025 年 8 月：147.73 円/ドル(2024 年 8 月：150.89 円/ドルと比べ 2.1%の円高)

<品目別動向>

○輸出

半導体等電子部品(1,686 億円→1,866 億円、伸率：+10.7%)は、香港(586 億円→830 億円、同 +41.6%)及びベトナム(268 億円→360 億円、同+34.1%)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

また、船舶(324 億円→483 億円、同+49.3%)は、マーシャル(43 億円→179 億円、同 4.1 倍)及びEU(実績なし→55 億円)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

一方、自動車(2,529 億円→2,358 億円、同▲6.8%)は、アメリカ(783 億円→473 億円、同▲39.6%)及び中国(557 億円→496 億円、同▲11.1%)向けが減少し、5か月連続のマイナスとなった。

○輸入

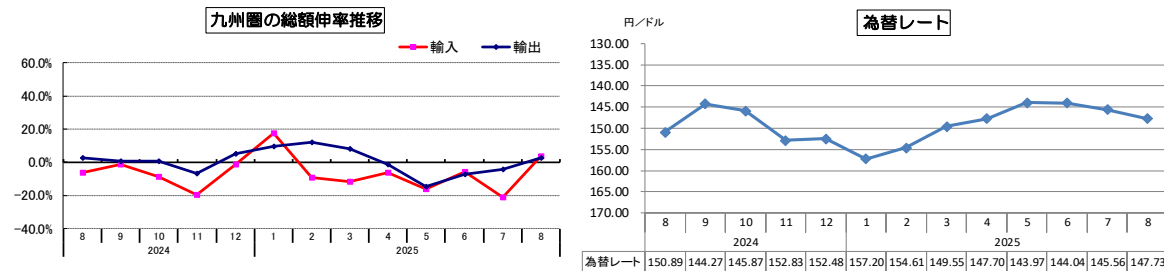
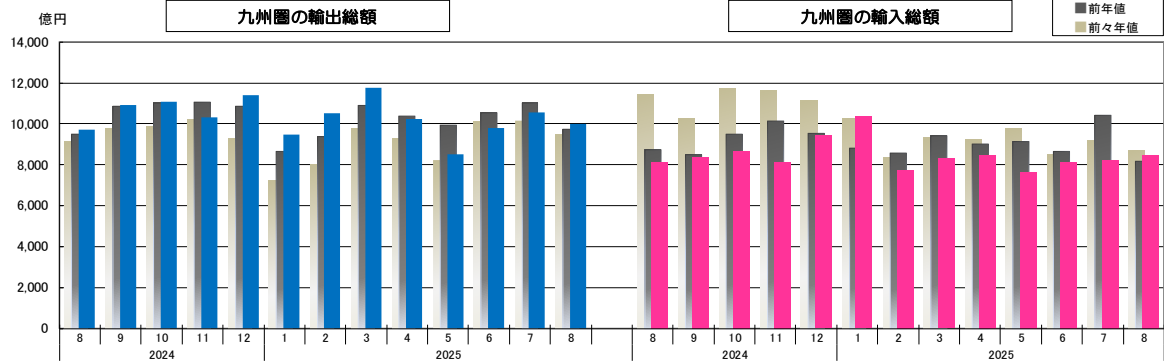
航空機類(6 千万円→531 億円、伸率：936.8 倍)は、アメリカ(1 千万円→529 億円、同 4143.7 倍)からが増加し、5か月連続のプラスとなった。

また、金属鉱及びくず(647 億円→910 億円、同+40.7%)は、銅鉱(357 億円→488 億円、同+36.6%)が増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

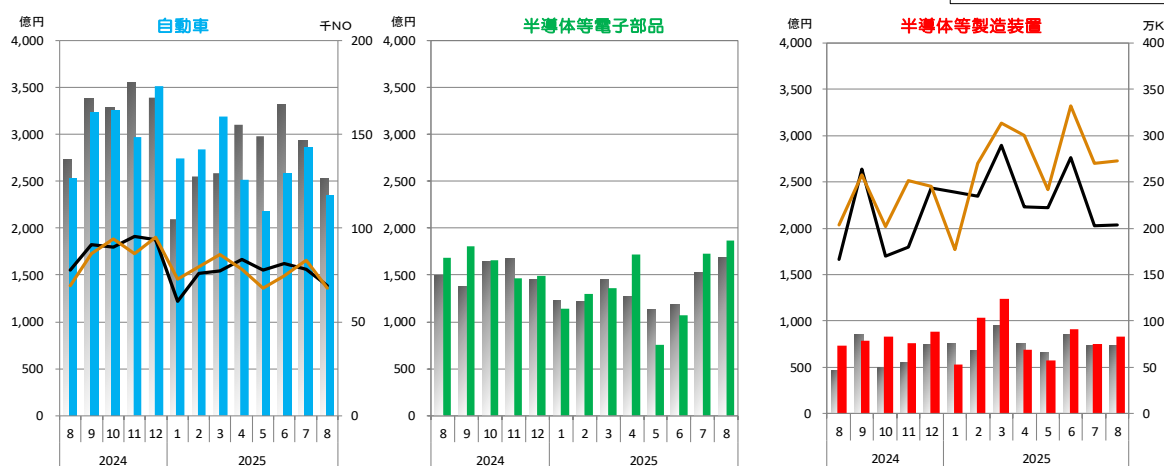
一方、原粗油(239 万 KL→260 万 KL、同+8.9%、1,984 億円→1,711 億円、同▲13.8%)は、アラブ首長国連邦(120 万 KL→86 万 KL、同▲28.2%、980 億円→540 億円、同▲44.9%)及びクウェート(34 万 KL→18 万 KL、同▲45.6%、280 億円→125 億円、同▲55.4%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

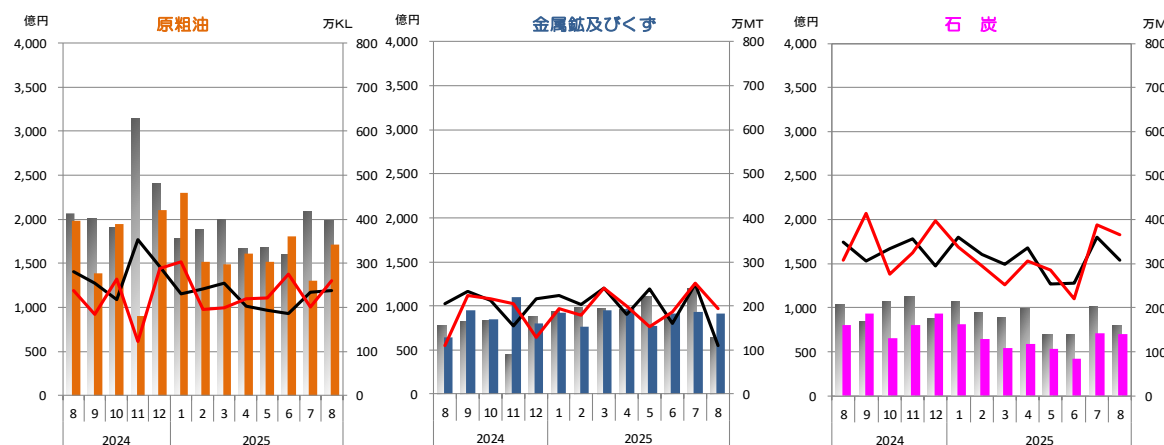
令和7年8月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。